

【どの子ども「わかる」「できる」を促すための支援内容一覧表】

授業づくりや学級づくりにおいて、これまで通常の学級で行われてきた、学力向上をめざした「わかる授業」のための工夫や配慮を基に、「特別な支援を要する子どもに必要な支援は、他の子どもにとっても助けとなり、あればよりわかりやすくなる支援である」という観点で、整理したものです。

3つの「視点」、9つの「支援の目的」、25の「支援の工夫例」でまとめました。

【3つの視点】

情報提示：わかりやすい情報提示の仕方について

環境整備：活動に取り組みやすい環境整備について

学級集団づくり：生活や学習の基盤である学級集団づくりについて

【具体的取組例】（支援の工夫例に則して、具体的な取組例を35例挙げました。）

小中高：小・中(通常の学級)、高等学校での取組例

特支：特別支援学校での取組例（より個々の実態に応じた支援の工夫例として参考にしてください。）

視点	支援の目的	支 援 の 工 夫 例	具体的取組例	
			小中高	特支
1 情報提示	(1) 読むこと、 書くこと を促す	(ア)色遣いや文字サイズ等の配慮で、重要事項等が意識でき、見やすく写しやすくする	例1	
		(イ)難しい漢字や重要事項等に仮名をふるなどで、読みやすくする	例2	例3
		(ウ)文字に指や定規をあてる方法を取り入れるなどで、読む箇所を明確にし、読みやすくする	例4	
		(エ)書く方向を示したり、マス目や罫幅の広いノートを使用したりするなど、書きやすくする	例5	
	(2) 聞くこと、 話すこと を促す	(ア)ゆっくり、はっきり、端的に平易な言葉で話すなどで、聞き取りやすくする	例6	
		(イ)選択肢の提示や教師による補足説明などで、質問に答えやすくする	例7	
		(ウ)話す手順やキーワード等を提示するなど、話しやすくする	例8	例9
	(3) 理解を促す	(ア)具体物や写真、映像等を活用して説明をするなどで、イメージをもちやすくする	例10 例11	
		(イ)学習課題に焦点をあてた教材の工夫や課題提示の工夫などで、学習課題を把握しやすくする	例12	
		(ウ)既習事項やポイント等により考え方のヒントを示すなどで、課題解決に取り組みやすくする	例13	
		(エ)操作する活動や動きのある活動を取り入れるなどで、思考を深めやすくする	例14	例15

視点	支援の目的	支 援 の 工 夫 例	具体的取組例	
			小中高	特支
2 環境整備	(1) 落ち着いた取組を促す	(ア)教室前面や黒板の掲示物等を精選して、教室環境を整えるなどで、注意を集中しやすくする	例16	
		(イ)写真やラベル等により場所の手がかりや見本を示すなどで、自分で判断し取り組みやすくする	例17	例18
	(2) 見通しをもつことを促す	(ア)板書やタイマー等により終わりの時間を示すなどで、時間的な見通しをもちやすくする	例19	
		(イ)取組の手順に番号をつけて事前に提示するなど、活動内容の見通しをもちやすくする	例20	例21
		(ウ)年間計画、週予定や日程等を視覚的に提示するなど、学校生活の見通しをもちやすくする	例22	
	(3) 書くことを調整し思考を促す	(ア)書く時間の保障、板書する速さや間などの配慮で、よく考え視写しやすくする	例23	
(イ)代替手段(板書計画に則したプリントやタブレットPC等)を活用するなど、書字に対する負担を軽減し、思考に集中しやすくする		例24 例25	例26	

視点	支援の目的	支 援 の 工 夫 例	具体的取組例	
			小中高	特支
3 学級集団づくり	(1) 表出意欲を高め理解を促す	(ア)各自で考えをまとめ、ペアやグループで共有するなど、発表しやすくし、また思考を深めやすくする	例27	
		(イ)つぶやきや発言を受け止め、安心して表出できるようにし、それらを取り上げて全体で共有するなど、理解を深めやすくする	例28	
	(2) 活動への参加を促す	(ア)他者評価や自己評価の場面を設けるなどで、取組が認められることにより、意欲を持続しやすくする	例29	例30
		(イ)得意なことなどを生かした活動や役割を果たす場面を設けるなどで、主体的に取り組みやすくする	例31	
		(ウ)学習や学級のルールを明確に示すなどで、安心して活動に取り組みやすくする	例32	例33
	(3) 人間関係づくりを促す	(ア)互いを認め合う取組(グループワーク等)で、自己理解や他者理解を深めやすくする	例34	
(イ)適切なタイミングで称賛や感謝の言葉をかけたり、子ども同士で認め合ったりするなど、自己肯定感や所属意識を高めやすくする		例35		